

## 「パソコンひろば大井」(足柄上郡大井町)がオープン

五月二十六日に県内六カ所目のIT利活用地域拠点(県西地区)として「パソコンひろば大井」がオープンしました。

大井町保健福祉センター(町管理)の協力のもと、ともしびショップゆうが会場を提供し、大井町ともしび運動推進協議会が事務局を、県西地域を中心に活動する(N)パソコンサークルが、障害当事者のパソコン利活用の支援をするなど、地域の関係者がそれぞれの持ち味を生かした役割分担で運営を行います。

障害のある方のパソコン利活用に欠かせないのは、使いやすく工夫された支援機器やソフトが、本人の心身の状態に応じて選択できることに加えて、本人の気持ちに寄り添いながら、支援するパソコンボランティア(通称:パソコンボラ)の存在があること。

地域作業所の仕事帰りに参加された福山雅実さんは、「初めてパソコンボラさんと取り組んだパソコンは楽しかった!また来たい」と



地域の新しいネットワークが誕生!

開設日: 毎月第4水曜日  
13:30~15:30(無料)  
場所: ともしびショップゆう  
(大井町金子1964-1)  
問合先: 大井町社協 0465-84-3294  
他地域のひろばの状況は<http://www.knsyk.jp/>でご確認下さい

### (ともしび運動推進担当)

いいいます。また、別の参加者の母親は「家のパソコンには全く興味がありませんが、今日は落ち着いて操作しています。知り合いにもこのひろばの事を教えたい」と話します。

ゆうの店長石川あぐりさんは、「この取り組みを多くの人に知ってもらい、障害や世代を超えた地域の憩いの場として活用してほしい」と期待を膨らませます。

「今後は地元が進めるパソコンボラの発掘や、仲間づくりにも協力していきたい」とパソコンサークル代表の平井俊春さん。パソコンを通じて生まれた新しいつながりが、地域にやさしい心のともしびを広げていきます。

## 第九回かながわ高齢者福祉研究大会開催報告

去る六月十八日、本県の高齢者福祉施設において実践されている排泄・入浴ケアや認知症ケア、相談援助等、介護に関わるさまざまな取り組みの発表の場として「第九回かながわ高齢者福祉研究大会」が開催され、県内の高齢者福祉施設職員、介護・福祉分野での活躍が期待される学生等、約千八百名が参加しました。

本大会は、高齢者福祉サービスの質の向上、人材の育成と確保を目的に、平成十四年から毎年開催しています。開催にあたっては、大会ホームページを一新し、大会の情報を広く周知しました。

当日は、県内施設・学校による発表として過去最多となる、百六十二題の研究発表が行われました。

福祉分野において、喫緊の課題である「福祉人材の確保」「利用者の人権擁護」に対する実践活動への注目度が集まり、混み合う会場の中で熱心にメモをとる参加者の様子からは、課題の重要性がうかがえました。



就職相談コーナーでは学生に加え、職業訓練生の姿も多く見られました

### (社会福祉施設・団体担当)

そのほか、小阪憲司氏(横浜ほうゆう病院院長)、河村泰好氏(コミュニケーションカウンセラー)等による講演が行われ、高齢者福祉施設による就職相談コーナー(八十三法人・九十ブース)、協賛企業による介護用品・福祉機器等の展示コーナー(十三社・十四ブース)も設置されました。また、本会で取り組んでいる「自助具」の展示コーナーも併設し、参加者からは「施設で取り入れたい」「設計に携わってみたい」といった感想が聞かれました。

関係者の方々の熱意に支えられて、来年度は第十回という節目の大会を迎えます。かながわの介護の最前線をさらに社会へ発信していきます。